

# 教頭の小部屋

巻の1  
2020.12.2



以前、本校校長が教頭をされているときに、通信でファーストペンギンについて書かれたことがありました。現在、机を並べさせていただき、私が自分の通信でその話を使わせていただいたと度々話をします。下の文章は、私が通信で書いたものを引用しました。

## 最初のひとり

飛べない鳥。ペンギン。「〇極のアイスクャンディー」のキャラクターに使用されているが、ペンギンは主に南半球にしか生息していない。隊列を作り、ひよこひよこと歩く姿は愛らしいが、食性は肉食。海中を自由に泳ぎ回り、魚類・甲殻類・頭足類などを捕食する。「海中を自由に泳ぎ回り」と書いたが、ペンギンが陸上から海に入ることは、実は危険と隣り合わせなのだ。海には天敵であるシャチやヒョウアザラシなどが、海に飛び込んでくるペンギンを捕食しようと待ち構えているかもしれない。「さあ、誰が1番最初に飛び込む?」。ダチョウ倶楽部なら「じゃあ、俺が最初に!」「いや、俺が最初に!」「じゃあ俺が・・・。」「どうぞ、どうぞ・・・。」というやり取りになるかもしれないが、同じ鳥類でも、ペンギンはダチョウではないし、もちろん上〇竜兵もいない。誰かが飛び込まなくては、捕食ができない。それは群れの存亡をかけた問題なのだ。「魚は食べたい、でもシャチは怖い。」と迷っている群れの中で、真っ先に海に飛び込むペンギン。そのペンギンを『ファーストペンギン』という。天敵がいるかもしれないというリスクを背負って先陣を切り海に入ること、後に続くペンギンが安心して海に入ることができるのだ。



何事も最初のひとは勇気がいる。学校生活でもそんな場面があるだろう。例えば生徒会選挙。当落選というリスクを抱えてまでも「集団のために」と、先陣を切って立候補した生徒は勇気が必要だっただろう。まさに『ファーストペンギンスピリッツ』の持ち主なのだ。より良い集団を作るためには、よりよい集団になるためには、先陣を切って行動を起こすペンギンが必要なのだ。さあ、行動を起こしたペンギンたち! 生徒会選挙まで、残すはあと1日。当落選の結果だけにとらわれず、胸を張って当日を迎えてほしい。

また、3年生の生徒会の皆さん。1年間お疲れ様でした。様々な取り組みを、自分たちで企画・運営してきた君たちは、まさに狭間中学校のリーダーでした。私も中学生の時に生徒会として活動しましたが、その時のことはいまだに忘れていません。大人になってもこの経験を活かすことができるはずです。任期終了まであと少しです。最後まで精一杯取り組んでください。

**3年生の取り組みを引き継ぎ  
NEW狭間中を作っていくのだ!**

